



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22, 1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2018年2月会報

第353号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Henry J. Grindheim

主 題: "Let Us Walk in the Light Together" 「共に、光の中を歩もう」
スローガン "Fellowship across the borders" 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

主 題: "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022 年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」

"Healthy mind & healthy body make healthy club"

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ

宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部長 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」

Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継承！」Continuity to the Next Generation

地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を

成功させよう

今月のテーマ : TOF(断食奉仕)CS(地域奉仕)

FF(家庭断食) Step For All

「さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか」。律法の専門家は言った。「その人を助けた人です」。そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。(ルカによる福音書 10 章 36-37 節)」

2018年2月例会

日 時 : 2018年2月14日(水)18:30~20:30

場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費 : 会員3,000円、会員外2,000円

ドライバー 石田由美子 長尾 亘

開会点鐘

ワイズソング

聖書朗読

祈 禱

ゲスト・ビジター紹介

会長報告・委員会報告

YMCAニュース

会 食

お話し

西川勝久氏 (かるがも園スタッフ)
「かるがも園での働き」

誕生日記念日

閉会点鐘

武田寿子会長

全 員

福田 肇

小林 康男

武田会長

武田寿子会長

2017/18 役 員	会 長	武田寿子	直前会長	若林成幸
	副会長	多胡葉子	書 記	若林成幸
事 業 委員長	会 計	吉田 明	堀江裕一	
	会計監査	加藤光信		
	連絡主事	谷川 尚		
	メネット連絡	福田素子		
特別事業 委員長	YMCAサービス・ユース	福田宏子		
	地域奉仕・環境	多胡葉子・EMC	若林成幸	
お誕生日 おめでとう!	交 流・ファン	石田由美子		
	広 報(ブリテン)	長尾 亘 (HP)	長尾 亘	
1 月 実 績	NGO	鯖尻佳子	じゃがいも	福田 肇
	バザー	青柳美知子		
	市民クリスマス	若林成幸		
	おめでとう!	吉田早苗 (10 日)		
		福田 肇 (11 日)		
	例会出席者数	27 名		
	在籍会員数	20 名 (内功労会員 1)		
	出席会員数	15 名		
	出 席 率	70.0%		
	メイクアップ(内数)	1 名		
	メネット	2 名		
	コメント・孫メット名、ゲスト・ビジター	10 名		
	例会充足率	135.0%		
	B F ポイント	1 月 3,790 円		
		累 計	23,160 円	
	にこにこBOX	1 月 1,000 円		
		累 計	20,750 円	
	ファン (物品販売)	0 円		
		累 計	33,000 円	

会長のことば

一年で一番寒い季節がやってきました。インフルエンザが今年も各地で流行していますが、宝塚ワイズの皆さまは寒さにもめげず、それぞれにご活躍のことでしょう。先日 YM ワールドの翻訳が届き皆様もお読みになったことと思いますが、私はこのワイズ運動の創始者で、偉大な指導者であったポール・ウィリアム・アレキサンダーについて彼の考え方やワイズ運動の原点を改めて知ることができ、感動しました。彼の誕生から 130 年になろうとしている今も、彼の創造性、将来への展望、さらに洞察力のあるリーダーシップがしっかりとワイズ運動に根付いていると感じました。宗教間の紛争が絶えない世界、貧困の格差がさらに広がって、〇〇ファーストと自分の利益を優先する社会にあって、改めて、ワイズ運動が市民的、経済的、言語、民族、国際国内、社会的、宗教的な垣根を越えて最も困窮している兄弟姉妹を支援することに力を尽くすことの大切さを教えてくれています。イエスの教え「最も小さいものの一人にしたのは、すなわち私にしたのである。」は、今もワイズの大切な使命の一つであるということに改めて理解することができました。

武田 寿子

1 月例会報告

2018年1月度の第一例会は 10 日(水)に宝塚ホテルゴールドの間で、出席者総勢 26 名で開催された。

開会に先立ち、先日天に召された故今田 稔メンにご冥福を祈り全員で黙祷を捧げた。

その後武田会長の開会点鐘に始まり、ワイズソング合唱、聖書朗読、ゲスト及びビジター紹介と進行し会食に入った。

食後、当日のゲストスピーカーである山田真知子様による「平和の使者青い目の人形」(90歳を迎えた人形を訪ねて)と題するお話を頂いた。お話の骨子はアメリカに於ける「反移民運動」を契機に日本に贈られた数百体の



の青い目の人形が第二次世界大戦という過酷な歴史の洗礼を受けながら、夫々の人形の苦難の遍歴や、その後日本からアメリカに返礼として贈られた「答礼人形」として贈られた日本人形についてもお話があった。

人形という形をしていても大戦の大きな波に飲み込まれた日米関係や厳しい人生を送られた人々を反映しているように思われた。

講話の後、会長報告、委員会報告、YMCA ニュース、誕生日のお祝いと続き最後に会長が閉会の点鐘をされ例会は終了した。

福田 肇

1 月第2例会報告

1 月 17 日(水)18 時 30 分から、宝塚市西公民館にて第 2 例会を開催した。出席者は、加藤、青柳、多胡、福田宏子、長尾、鯖尻、石田、谷川、若林各メン。武田会長が不在のため多胡副会長によって進められた。

1. バザー委員会報告(青柳委員長)

5 月 19 日(土)開催予定のバザーにつき、

バザー事業委員会の報告に基づき次の諸点を協議した。

- ①後援名義使用申請(宝塚市・国際交流協会等)は谷川メンが当たる。
- ②事前準備に関し、チラシのデザインは重松、協賛企業への依頼書は青柳、ラッキー券は谷川、各メンが分担。3 月第1例会にて配布する。
- ③協賛企業回りの分担を見直し、負担の公平を期す。また、新規協賛先の獲得に努める。
- ④販売食品はアイスクリーム類・焼きそば・クッキー・カルピス・ぜんざいとし、分担して準備に当たる。

2. 30 周年事業進行について(長尾実行委員)

30 周年事業についてプログラム確認を行い、ブリテン 3 月号に記載することとした。

日時:3 月 21 日(祝)12 時~15 時、
会場:宝塚ホテル オーシェルの間、
登録費一律 7000 円。

通常の例会プログラムに準じて進行し、聖書朗読・祈祷を辻 建牧師に、祝辞を井上総主事、大野理事にお願いする。次にポップン・リンガーズの演奏、長尾メン制作の“30 周年のあゆみ”と続き、杉本部長による乾杯・会食の後、服部直樹氏による“ギター演奏と語り”を余興とする。なお、当日、祝辞の前に入会式(別記)を行うことも確認した。

3. 新入会者について

先般来、例会ゲストとして参加の服部直樹氏がご子息 服部琢磨氏とともに当クラブへの入会を希望された。これを歓迎し 3 月例会において入会式を行うことを了承した。スポンサーは武田会長。

4. “防災ウオーキング”事業について(多胡)

3 月 11 日に宝塚市・FM 宝塚等による“防災ウオーキング”が開催されることになり、当クラブの参加の可否を協議した。ウオーキングは売布→山本園芸流通センターで、終点で風揚げが行われる。これまで自立の家・武庫川

がっこうによる“揚がれ！希望の風”に参画してきたが、開催の趣旨が同じであるので両方に協力することを了承した。

5. 4 月以降の例会ゲストについて

ゲストスピーカーとして次の方々を招くことを了承した。

4 月 11 日 谷川 寛メン(大阪センテニアルクラブ)「聖地パレスチナを訪問して」

5 月 9 日建築家 内藤徹男氏(長年にわたり関西学院キャンパスの整備に従事、日本建築学会賞受賞)。

6. 西日本区大会の準備状況について(石田)

“西日本区大会登録のしおり”が完成し 1/19 に配送する。WEB による登録準備もほぼ完成し、いよいよ大会参加者の登録が始まる。これから本番に向けて忙しくなる。

7. 市民クリスマスの反省(若林)

第 13 回市民クリスマスの変更点「聖書朗読に代えて神学生による“劇”」、「オルガンやベル演奏割愛とホール経費の削減」を中心に反応を聞いた。全般に好評であったことが報告され、次回に生かすこととした。

8. 会計中間報告について(吉田)

2017 年 7 月~12 月会計中間報告があった。通常会計・ファンド会計ともに概ね順調であることが報告され、これを了承した。

●ジャガイモ事業の実績 400箱完売。収入 856,000 円 支出 608,002 円 収支差額 247,998 円

9. ブリテン編集(長尾)

ブリテン2月号の寄稿分担、編集日程を確認。長尾メンから編集作業の実情を聞き、その労を思いねぎり感謝した。

若林書記

「今田稔先生を偲んで」

1987 年宝塚ワイズメンズクラブ発足当時のメンバーのなかには、YMCA 運動と長く関わって来られたすぐれた先輩たちが多かった。初代会長の大林正治さんを初め、藤森元さん、今田稔さん、今西政弘さん等々。教会の活動にこそ長く関わってきた私ではあったが、YMCA は外から眺めていたに過ぎず、ましてやワイズ運動がどんなものかさっぱり知らなかった私は、こうした先輩たちの立ち居振る舞いを見ながらひとつひとつを教えられて育ったのだった。

今田先生は当時、武庫川にある重度障害児の施設「砂子学園」の専属医師としてボランティアな働きを始められた頃だった。毎朝武庫川沿いの道を自転車で行くのは「気持ちがいい」と言われていた。阪神淡路大震災で自宅が全壊した朝も砂子の子どもたちを気づかって川縁を下られて励まされた。当時はみな 50 代から 60 代にかかった頃だったから元気で月一度の早朝祈祷会に集まり、祈りをともにした。1993 年ノールウェーのオスロで開かれた世界大会には 9 名のメンバーが参加した。世界規模のワイズがどんなものかを肌で知り、北欧のフィヨルドの壮大な自然とともに触れた感動は忘れられない。今田先生は、先頭に立って旗を振るようなリーダーではなく、仲間のなかで仲間のひとりとして、自然に道を開いて行くタイプのリーダーであられたように思う。その醸し出す雰囲気はいつも暖かだった。思い出は尽きず、この紙面ではとても足りない。ひとつだけ足すとすれば、先生のカラオケのおはこは「琵琶湖周航のうた」だった。

辻建 元会員・大島在住

他クラブ訪問

中西部合同新年会報告

2018 年 1 月 20 日(土)12 時から土佐堀の大阪 YMCA 会館で中西部各クラブ、他クラブビジター、85 名の出席で和やかに合同新年会が持たれました。中西部は毎年、直前部長輩出クラブが主催すると言う決まりで今年は高槻クラブの主催となりました。

第 1 部式典の後、第 2 部は大阪府立三島高校ジャズダンス部、1～2 年生の若さと元気一杯の躍動感あふれるジャズダンスのステージです。去年ロサンゼルスで開催された国際大会に出場しヒップホップ部門で優勝、と言う素晴らしいクラブです。ダンスと言えば府立登美ヶ丘高校ダンス部がバブル全盛期の衣装、スタイルで踊る「バブリーダンス」



は紅白歌合戦にも出る位に全国版になりました。私も関学生にフラを教えて若い彼らのリズムや感性に感動を覚えること度々です。

会場のワイズ、メネットは大きな刺激を与えられた事でしょう。

その後懇親会へと続き、ビンゴゲームでラッキーにも賞品をゲットして楽しい年明けの例会訪問になりました。

石田由美子

阪和部新年会に参加して

2018 年 1 月 13 日大阪市内のホテルであった。メネットの和服と鏡割り、そして大道芸集団の伝統芸があり、新年会の雰囲気の中、久しぶりに会うワイズと和やかな話と楽しい時間を持つ事が出来ました。

長尾 亘



揚がれ！希望の風！

今年も東日本大震災の発生した 3/11 日が近づきました。毎年宝塚ワイズメンズクラブでは宝塚市民の方々と共に大空に風を揚げ被災地の方々に寄り添ってきました。その行事は宝塚ワイズが主催することを5年を区切りとしました。

しかしながら宝塚ワイズの蒔いた種は市民の方々に受け止められて今年は、はんしん自立の家と武庫川がっこうが主催で、むこにゃん広場で希望の風が揚げられます。そして宝塚市、宝塚防災ラジオウオーク実行委員会の主催で地域を歩いて「自主防災」の意識を高める行事のあと広場に集合し、参加者のみなさんと共に希望の風揚げの行事が実施されます。

宝塚ワイズは協力団体として以下の二カ所で実施される行事に協力します。
ご都合をつけてご参加ください。

3 月 11 日(日) 揚がれ！希望の風！実施時間と場所

- ① 時間 午後 2:00～3:00
場所 はんしん自立の家の前の
むこにゃん広場
- ② 時間 午後 1:00～3:00
場所 山本園芸流通センター

CS 担当 多胡 葉子

【今月のみ言葉】

ある時、律法の専門家が主イエスに、「私の隣人とは誰ですか」と問いかけてきました。当時のユダヤ社会では、「隣人」はユダヤ人同胞を意味すると一般に考えられていましたが、厳密な「隣人」の範囲については様々な見解があったようです。

そこで主イエスは、善きサマリア人の譬えを語り始めます。あるユダヤの旅人が強盗に襲われて半殺しの状態で置き去りにされますが、その場を通りかかった祭司やレビ人は彼を見捨てて立ち去った一方で、ユダヤ人とは敵対関係にあったサマリア人が彼を助けたという話です。この譬えを語ったあと、主イエスは律法の専門家に、誰がその襲われたユダヤ人の隣人になったと思うかと尋ねたところ、彼はそのユダヤ人を助けたサマリア人だと正しく答えるのですが、それを聞いた主イエスは彼に、そのサマリア人と同じように行動するように促すのです。

この譬えを通して主イエスは、宗教的・民族的枠内に限定されていた従来の「隣人」理解に対して、すべての人に開かれた新しい「隣人」理解を示し、助けを要するあらゆる人に愛の行為を実践するように勧告しています。もちろん、このサマリア人のように行動することは難しいかもしれませんが、必ずしも大げさに考える必要もないように思います。電車やバスで席を譲る、道がわからずに困っている人に声をかけ

る、友人の悩みを聞く、家族に日々感謝する等々、隣人愛は、そのようなごく小さな行動から始まるのではないのでしょうか。

嶺重 淑



寒さ厳しい時期となりました。この 4 月、2018 年度よりいよいよ全国の YMCA 全体で新しいブランド、新しいブランドロゴ、新しいブランドスローガンで、みんな一緒に YMCA 運動を展開することとなります。神戸など日本でいくつかの YMCA では先行して 10 月より行ってきましたが、いよいよ全国に広がっていきます。まだ神戸の中でも建物のロゴ変更(結構大変です)や車のステッカーなど微妙に変更が間に合っていないままですが残り 2 か月でしっかりと新しい気持ちとなって迎えられるように準備を行っています。

ワイズ、特に六甲部にとっても大きな一年になると思いますが、YMCA とともに歩めるようよい準備に努めたいと思います。

1. 発達支援セミナー

神戸 YMCA では、神戸市西区・中央区・西宮市で就学前の幼児期にある支援が必要な子どものための「児童発達支援事業」を、また西宮市で発達障がいがある小中学生の社会性や学習指導を行う「サポートプログラム」を行っています。そのような子どもの支援のための心構えを学ぶ発達支援セミナーをこの 2 年間行ってきましたが、4 月には新たな様々な課題の子どもの支援にかかわりたい方向けのセミナーを開催します。関心のある方ぜひご参加ください。

日時: 4 月 28 日(土) 13:30~17:00

場所: 西宮 YMCA

詳細が決まりましたら、神戸 YMCA ホームページに掲載を行います(<http://www.kobeymca.org/>)

2. YMCA YWCA イースター早天礼拝

今年のイースターは 4 月 1 日になります。毎年イースターには神戸の YWCA・YMCA にかかわる人たちが各教会の礼拝に先立ち、神戸東遊園地で祈り続けてきました。今年で 96 回目となる早天礼拝は、

日程: 2018 年 4 月 1 日(日) 7:00~8:00

祈り: 井上正道伝道師(神戸教会)

詳細が決まりましたら、神戸 YMCA ホームページに掲載を行います

(<http://www.kobeymca.org/>)

3. YY フォーラム開催について

例年、ワイズやリーダー、スタッフと学び語り合う機会として実施している表記の会ですが今年度は、2018 年 2 月 10 日(土) 午後に開催することとなりました。今年度よりスタートした「ブランディング」をもとに YMCA に集うワイズ、リーダー、スタッフを中心に熱く語り合う時間を持ちたいと思っています。ご参加をお待ちしています。

日程: 2018 年 2 月 10 日(土) 13:00~17:00

場所: 神戸 YMCA 三宮会館

内容: 「ひろげよう! ~ブランディングから始まる Y ストーリー」

それぞれの YMCA への思い出そして思いを語り合います。

4. 熊本、東北地震復興支援プログラム

まだ詳細未定なのですが、熊本、東北地震復興支援のため、中日本(だいたい関西圏)の YMCA 全体で阪神タイガースの試合に冠名称として「YMCA 震災復興支援応援ゲーム」と名を打って、被災地および被災移住者の方も招待して、みんなでタイガースを応援しながら支援につなげようという企画を検討中です。予定としては 4

月14日(土)のVSヤクルトの試合をと思っています。

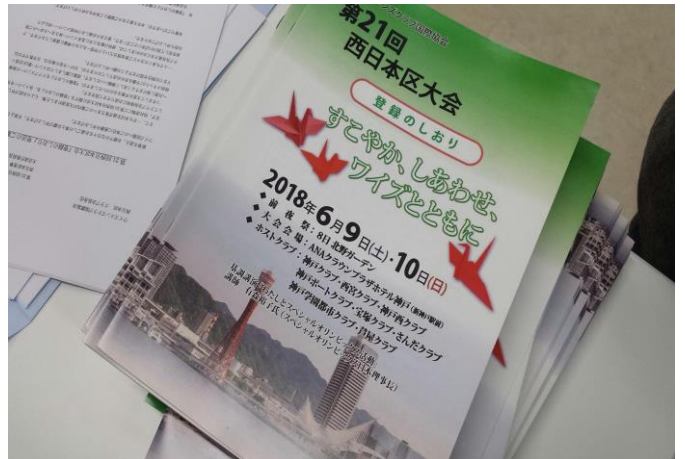
熱烈な阪神ファンの方もそうでない方もぜひ4月14日は予定を開けていただいて、ともに支援をと共に声援を送りましょう。詳細が決まり次第、随時ご案内いたします。

第 21 回西日本区大会
実行委員会コーナー

2018年1月22日(月)、18時30分から今年初めてであり13回目の実行委員会が開催されました。ネットによる登録サイトをアップする直前の最終確認に時間を割き、英語サイトと共に、1月24日(水)、午前10時から登録可能となりました。今回「初めて」が2つあります。全ての案内を1冊にまとめた冊子作成、英語サイトの新設、です。1月29日現在、海外からも含めて58名の登録がされています。

この1年、基礎であるインフラ整備に集中して来ましたが、これからはいかに楽しい、感動的な体験を提供出来るか、ソフトを考えて行く事になります。クラブのみなさんのアイデア、力をお借りして神戸大会を成功させましょう！

石田由美子実行委員長



CS 献金のお願い

当選した年賀ハガキの切手と現金合わせて一人 1,500 円です。

2 月の第一例会で集めさせていただきます。

尚、現金のみでも可能です。どうぞよろしく。

今年の年賀ハガキ当選番号は以下の通りです。

1 等 784640 2 等 3260 3 等 27、86

CS 事業委員 多胡 葉子

2017、12、15 市民クリスマス会計報告

収入の部		支出の部	
教会の協力献金（甲東・宝塚）	120,000	ベガホール使用料	186,488
合唱出演者の協力金（34 人）	114,100	謝礼（3 名・3 団体）	110,000
ワイズメンズクラブの拠出金	134,453	楽譜制作費	32,778
その他の寄付金 （関学同窓会宝塚支部ほか 4 件）	57,500	プログラム等印刷費	6,585
		調律費	21,600
		弁当・プレゼント代	57,438
		練習会場費	10,000
		送料・手数料	1,164
合計	426,053	合計	426,053

※募金 127,087 円は 91,087 円を YMCA 国際協力募金に、36,000 円を西日本区震災支援に充当した。

※西日本区 CS 事業助成金(80,000 円)を取得した。